



福山大学

FUKUYAMA UNIVERSITY

学 報

2012.4.3

Vol. **132**

三蔵五訓

真理を探究し、道理を实践する。
豊かな品性を養い、不屈の魂を育てる。
生命を尊重し、自然を畏敬する。
個性を伸展し、紐帯性を培う。
未来を志向し、可能性に挑む。



祝 入学



ACCREDITED
2007. 4 ~ 2014. 3

入学式 学長告辞	1
理事長あいさつ	2
学習に取り組む前に	3~4
キャンパスライフへの指針	5
就職活動への取り組み	6
社会連携研究推進事業	7
CMコンテスト奨励賞受賞	8
ET ロボコン2012に向けて	8
学内トピックス	9
学友会短信	9
国際交流瓦版	10
日本語スピーチコンテスト	10
行事予定	11



志を高くもって

平成24年度入学式 学長告辞

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。ようこそ福山大学においでくださいました。福山大学教職員一同、そして在校生一同、新しい仲間を迎えることができたことをこころから喜び、こころから歓迎します。また、ご臨席のご家族の皆様には、ここまで育て、そして福山大学へと、物心両面でご支援いただきましたこと、こころより感謝申し上げます。新入生とご家族の皆様のご期待に十二分にこたえて、これから卒業までの期間、新入生の皆さんの広範な人間形成に向け、教職員一同全力を挙げて取り組む所存です。ご家族の皆様には、引き続きの物心両面でのご支援を、よろしく願いいたします。

福山大学は、今年度創立37年目を迎えます。卒業生総数は3万人あまりで、その中から備後地域を中心に、地域のリーダーや中核となる人材が次々と輩出しています。創設者による建学の精神は、「人間性を尊重した調和的な全人格陶冶を目指す全人教育」ですが、この精神は、5学部14学科を擁する、人文社会系、理工系、医療系のそろった中国地方有数の私立総合大学となった今日まで、脈々と続き、私ども教職員が行う教育支援の中心的理念となって受け継がれています。

さて、先ほどはご入学おめでとうございます、と申し上げましたが、昨年は、東日本大震災、福島第一原発事故、あるいは台風12号による集中豪雨と土砂災害等々により、多くの人命が失われ、当たり前存在していた日常生活が奪われ、本来なら入学式を迎えるはずの若者、家族、教師にとって、それが不可能になってしまっています。私たちは、今こうして入学式を滞りなく行い、それを祝うことができると言うことを感謝すると同時に、このたびの震災からの復興と再生だけで

なく、社会の将来にわたる持続的な成長と発展を可能にする人材の育成に向けての大学教育を行う責務があります。また、大震災や大事故は、これで終わり、というわけではありません。人類の長い長い歴史から見れば、ほんの最近数百年の間の、科学・技術の爆発的進歩と文明社会の急激な発展は、地球規模で天災と人災の区別を曖昧にして、物質的に豊かではあるが大きなリスクと隣り合わせの生活を、私たちにもたらしています。

このような時期に、大学に入学する皆さんは、どのような人間に育って大学を卒業することを目指して、大学で学ぶべきなのでしょう。目指すは、「ある専門領域での熟達者」と思いませんか。それは正しい答えでしょう。しかしこれからの皆さんは、「ある専門領域での熟達者」であるだけでは不十分です。さらに、他の多くの未知の領域については、知的な初心者(intelligent novice)になる必要があります。知的初心者というのは私の専門である心理学の用語なので聞き慣れないかもしれませんが、「知らないということを知っている知的な挑戦者」と言い換えればわかりやすいでしょうか。すなわち、未知の新しい課題に対して、臆することなく、情緒的に混乱することなく、闇雲に対処することなく、果敢に知的に挑戦できる人のことであり、皆さんにはそのような知的初心者にも、ぜひなってほしいのです。では、どうすれば知的初心者になれるのでしょうか。まず皆さんは、大学で新しいことをたくさん学ぶと思いますが、学ぶとき、意識して学び方も学ぶようにしましょう。在学中に身につけた知識と技能がいつまでも有効なわけではなく、卒業後生涯にわたってブラッシュアップしていく必要があります。そのためには学び方を学ぶ必要があるのです。次に、正しい答えのない学

びに挑戦しましょう。大学では、問題設定から自分で行う授業も、学年とともに多くなります。そうすると失敗も当然起こりますが、失敗こそ学びの宝庫。失敗をおそれず、失敗したときは、なぜ失敗したかを徹底的に追求し、失敗をプラスに転じることにより、失敗から立ち直り失敗を超える方略を学びましょう。また、自分とは価値観の違う人と多く接し、互いに理解し合って建設的な解決策にいたるようコミュニケーションすることを体感し学びましょう。本学の総合大学としての強みが生かれます。

こうして皆さんは、大学の学びの中で、すなわち教職員や仲間や地域の人々にある意味守られた学びの中で、ある領域の熟達者になるだけでなく、未知の領域に挑戦できる知的初心者に育ってください。そうすれば卒業後、大きなリスクと隣り合わせの高度文明社会の中に出ていき、次々と新しい難問にぶつかったとき、たとえ大学で学んだことがそのまま適用できる問題でなくても、速やかにその事態から学んで知的に対処できるはずで、さらにある領域の熟達者としての能力と未知の領域における知的初心者としての能力は、将来、自分のためにのみ使うのではなく、家族のため、隣人のため、見知らぬ人々のため、社会のために使うのだという、高い志をもって学ぶことが、東日本大震災の時代に生きている私たちと皆さんに課せられた義務でもありましょう。

以上、新入生の皆さんの実り多い大学生活をこころから願い、そして私たち教職員は惜しみなくそれを支援することをお約束して、入学式告辞とします。

平成24年4月3日

福山大学 学長 松田 文子



世界的な人間をめざして

平成24年度入学式 理事長あいさつ

新入生の皆さん、入学おめでとうございます。皆さんの入学を教職員もそして在学生も心から歓迎いたします。また、新入生の保証人の皆様には、大切に育てていただいたお子様を、私共の大学に入学させていただき、心より厚く御礼申し上げます。私共教職員は一体となって、お子様を大切に育て、大学生としての学力、知力、徳力、体力を身につけた立派な社会人とするよう努力いたしますので、どうか安心しておまかせいただきたいと思います。

さて、紀元前522年に生まれ、人間としての生き方や政治の在り方などについてまとめ「儒学」として体系づけた孔子が晩年になって、自らの生涯を振り返って言った言葉があります。それは「志学」「而立」「不惑」「知命」「耳順」「従心」という六つの言葉です。

「志学」とは、十有余歳にして学を志したこと、まさに、本日の新入生と同じ年齢の時、学問を志すことを決めたということです。次の「而立」とは、30歳にして立つ、即ち、学問の基礎ができ、自立することができたということ。「不惑」とは、40歳にして惑わず、ということです。「知命」とは、50歳にして天から与えられた使命を知った。「耳順」とは、60歳にして人の話を素直に聞き入れるようになった。「従心」とは、70歳にして心のままに行動しても人の道を踏み外すことがなくなった。一という意味です。

どうか皆様も志学という意味、そして孔子の年齢ごとの生き方や、考え方を参考にして頑張ってくださいと思います。

また、いま大学の秋入学などが議

論されています。その理由は、ご承知のように、グローバル化、国際化が進んでいく中で、日本もこの波に乗り遅れないようにという立場から考えられているものです。ご承知のように、世界の大学の多くが秋入学であることから、留学生の受け入れや日本からの海外留学などを考え、変更したらどうか、ということです。確かにグローバル化人間を育てる、その一つは既成概念に捉われず、何事にも積極的にチャレンジする。二つはプレゼンテーション能力(表現能力)をみっちり身につけ、何処へ出ても誰にでも自分の考えや、意見をはっきり表現する力を持つ。三つは自国は勿論、外国の文化や伝統などについても、しっかり学び、柔軟に対応ができるコミュニケーション能力を培うこと。四つは外国語に堪能になることなどが求められています。まさに、国際化、グローバル化を進める上で必要な能力や知識、技術、態度を育成する視点を考え、いま議論が行われているところであり、当大学としてもこの点について検討を進めようと考えています。

そんな教育事情もあって、本学では国際交流も精力的に行っています。アメリカのカリフォルニア大学、ブルガリアのソフィア大学、中国の中山大学や対外経済貿易大学などの一流大学との協定にもとづく留学生の交換・交流も盛んです。また中国孔子学院と提携した福山大学孔子学院もあり、中国語教育などで本学の学生が有効に活用することが可能です。入学した学生には、このような国際交流の機会を捉えて、世界的な人間となつて、大きく成長してほしいと思います。

さて、最後に、当大学として、入学し

た学生に対し、三つのことを指導することとしています。

第一は、大学生となった以上、自分が何を勉強し、どんな資格を身につけるかなどを自分でよく考え、方針を決定し、その目標達成に向って、しっかり勉強し、前述した学力、知力、徳力、体力を身につけた立派な社会人になるよう努力してほしいことです。

第二は、クラス担任教員と日常的に連絡を取り、何事によらず相談し、指導を受けて学生生活を一層充実したものとしてほしいことです。また、授業にもきちんと出席し、学業に励んでほしいことです。

第三は、在学中にたくさんの友人を作してほしいことです。友人は在学中は勿論、生涯にわたってつきあってほしいと思います。友人は何ものにもかえがたい貴重な財産です。友人を大切にすれば、友人もこちらを大切に扱ってくれますから、人間関係を確立する意味からもこれを実践してほしいと思います。特に当大学には、留学生もたくさんいますので、これらの留学生と交流し、親睦を深めることは、生涯にわたって必ず双方に役立つものと考えていますから、ぜひ実現してほしいと思います。

貴重な学生生活を希望と夢に満ちたスパンとし、立派な社会人に成長し、保証人の期待に応えるよう頑張ってください。

これをもちまして、新入生に送る言葉といたします。

平成24年4月3日
学校法人 福山大学
理事長 清水 厚實

学習に取り組む前に

充実した学生生活を!

経済学部

陽春の候、新入生の皆さんご入学おめでとうございます。ならびに保証人の皆様、誠におめでとうございます。謹んでお祝い申し上げます。

さて、新入生の皆さんは晴れて福山大学の学生となりましたが、サークル(部活動)についてはお考えでしょうか。

福山大学には、体育会系、文化系合わせると50を超えるサークルがあります。その中で、私は昨年福山大学三蔵祭運営委員会の運営委員長として大学祭の運営に携わり多くのことを学びました。そして就職活動に奔走する今、サークルで培った経験やスキルが大変役に立っています。

私はサークルに所属することで、新たな絆が生まれ充実した学生生活を送れると

考えています。今後の充実した学生生活を送るためにも、自分にあったサークルを見つけていただきたいと思います。また、私たちと一緒に三蔵祭運営委員として大学祭を創りたいという方も歓迎しますので、興味があったら是非体育館横のクラブハウスにお越しください。

不安もあると思いますが、皆さんが福山大学で充実した生活が送れるように祈っております。

経済学科

4年 有木 圭吾



自分が一番がんばれることを見つけよう!

人間文化学部

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。皆さんは今、さまざまな期待と不安を胸に抱いていて、恐らくその中の一つにどの「サークル」に入るかがあると思います。私は現在、YRC(ボランティア)部というサークルの部長をしています。私たちは松永・福山駅、芦田川周辺のゴミ拾いを中心に活動しており、他にも福山周辺でのイベントにスタッフとして参加し、さまざまな事に挑戦しています。また、サークルの方針は「人とのつながり」を大切にすることです。ボランティア先で出会った人たちから別のボランティア先を紹介してもらうことで、さまざまな人たちとつながりをもつことができました。大学生活を有意義

なものにするかどうかは、自分次第です。自分が一番になれる、自分が一番頑張れることを見つけて下さい。そしてかけがえのない友達を作ってください。大学の数年間はすぐ

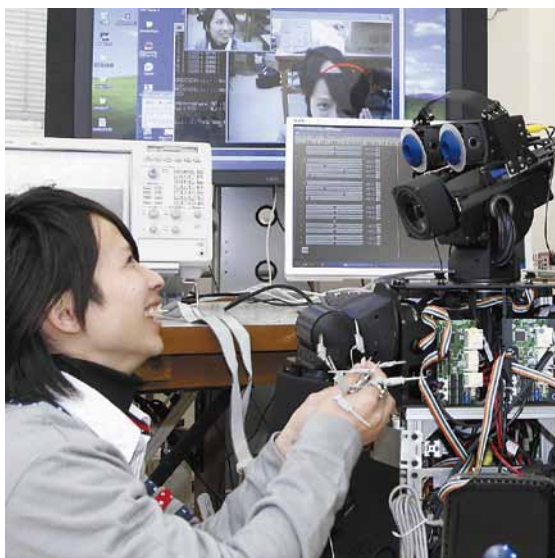


に過ぎていきます。皆さんが全力で最高に楽しい大学生活を送ってくれることを願っています。

人間文化学科 3年 小野 拓也

有意義な大学生活を!

工学部



新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

これから楽しい大学生活が待っていることだと思います。

そこで、皆さんが充実した大学生活を送れるようなアドバイスをできればいいと思います。

1つ目は、授業は真面目に出てきっちりと復習しポイントをおさえて勉強してください。そうすることで、テスト勉強もきっと楽になるでしょう。

2つ目は、しっかり遊んで下さい。ただ遊んでばかりではダメです。メリハリをつけて遊

ぶときは大いに遊んで下さい。

3つ目は、積極的に部活やサークル、課外活動、イベントなどに参加して下さい。大学ではすべて自分で決めないといけません。なので、興味があること、してみたいこと、やりたいことがあったら積極的にどんどん参加してください。

これら3つはきっと大学生活を充実させるだけではなく皆さんの個性や社会性、コミュニケーション能力などさまざまなスキルが身に付くだけでなく、自分自身を成長させるきっかけになることと思います。

それでは、これからの大学生活を楽しんで送ってください。

電子・ロボット工学科 4年 久岡 信貴

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。

希望に胸膨らませる反面、大学という未知の世界に対する不安な気持ちも隠せないと思います。そこで皆さんに是非参考にして欲しいことがあります。

一番重要だと思うのは自己管理力です。大学では自由に時間割を組むことができます。たくさん授業を取って勉強に励むのも、課題やサークル活動をするための時間をつくるのも皆さんの自由です。車通学もできますし、学内のイベントに参加したりアルバイトを経験したりと、楽しいことがたくさんあります。

そこで忘れてはいけないのが、自由の数だけ責任がついてくるということです。自由と責任にメリハリをつけ、しっかりと自己管理することが充実した大学生活を送るコツだと思います。皆さんが素晴らしい大学生活を送れるよう応援しています。



生命栄養科学科 4年 山根 照正

悔いの残らない大学生活を!

薬学部



新入生のみなさん、ご入学おめでとうございます。入学したばかりで、期待と不安で胸がいっぱいだと思います。今春から、大学生になられた皆さんへ私なりのアドバイスをします。

まず学習についてですが、学年が上がるにつれてどんどん専門的分野が増えます。そのため1、2年生のうちからしっかり内容を理解して専門分野を学ぶための基礎知識を身につけましょう。高学年になって、1、2年生の勉強がいかに重要だったのかということに気づかれます。でも、勉

強ばかりでは疲れてしまいます。大学生活ではサークル活動や班活動、ソフトボール大会、学祭など楽しいイベントがたくさんあります。3年次には研究室配属もあります。そこで、友達、頼れる先輩を作って、たくさんの楽しい思い出を作ってもらいたいです。

6年間はあっという間です。学習にも遊びにも真剣に取り組んで、6年間悔いの残らない最高の大学生活を送ってください。

薬学科 6年 横山 美幸

自らのキャンパスライフをより楽しく充実したものに!

学友会



三蔵祭



学友会京都ツアー



春季学長杯争奪競技大会 (FUS)

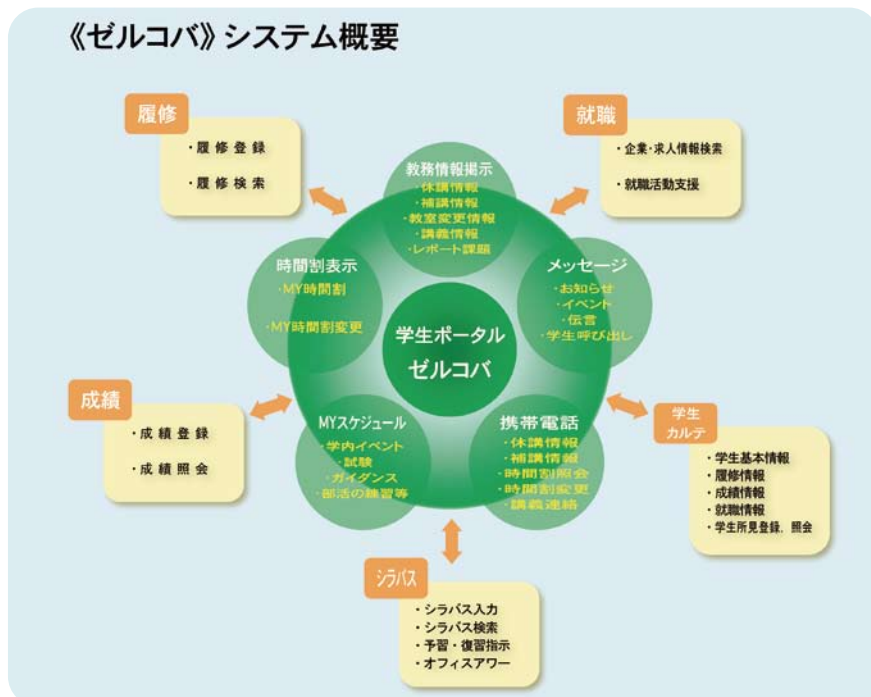


学友会スキーツアー

キャンパスライフへの指針

平成24年度から学生支援システムを導入

《ゼルコバ》システム概要



平成24年4月から学生ポータルを中心とした学生支援システム「ゼルコバ」の運用を開始します。ゼルコバとは、福山大学の「徽章」で櫨の学名:Zelkova serrataに由来しています。より早く正確な情報伝達と学生・教員への支援サービスの充実を目指して、福山大学で運営しているシステムの名称です。

ゼルコバシステムの主な支援サービスとしては、Web履修・シラバス公開・成績閲覧などの教務情報、証明書自動発行システムによる各種証明書の取得、求人情報・就活状況などの就職情報、および学生カルテの構築などがあります。これらWeb化された教務・学生・就職関係の情報を、学生は、パソコン・携帯電話・スマートフォンなどから閲覧することができます。

情報処理教育センター

センター長 筒本 和広

価値ある変化を起こして

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。心から歓迎しています。

本学では、皆さんが学習することによって基本的な知識を習得するとともに教養を備え、創造性豊かな人に育ってもらうために、知識、技能及び態度に価値ある変化を起こす充実した教育プログラムを用意しています。本学の授業科目には、共通教育科目と専門教育科目が設定されています。特に、共通教育科目の初年次教育科目としての教養ゼミでは、極め細やかな対応が考えられており、友人や教員と対

話する機会も増えますので、皆さんの社会性が養われていくものになることを期待します。また、教養講座も開かれます。専門教育科目は各学部学科で特徴ある科目を開講しています。皆さんは講義・演習・実習を履修、さらに卒業研究・論文を通して「問題発見能力・解決能力」や「コミュニケーション能力」を培っていくことになります。

学習形態も講義だけでなく、スモールグループディスカッション(SGD)、問題解決型学習(PBL)などの自己学習型の形態

も取り入れています。積極的に学習に取り組む姿勢が新しい自分を生み出していきます。また、皆さんの学習を支援するために、学習支援相談室も設けられていますので、気軽にのぞいてみて下さい。

本学で学ぶ授業科目は、事前に履修登録が必要になります。今年度からWebサイトを利用した学習支援システム「ゼルコバ」を利用して授業科目を履修することになります。履修科目の決め方や登録の仕方などは年度初めのオリエンテーションや情報リテラシーの授業などで詳しく説明されます。

本学では進級・卒業するのに定められた単位を取得する必要があります。これらのことは「学生便覧」に詳しく記載されていますが、不明な点はクラス担任や教養ゼミ担当教員または教務課に相談してください。

皆さんには、大学では多くのことを積極的に楽しく学んでいって欲しい、そして、価値ある変化を起こしながら、役立つ自分を認識して、自信と希望を育てていって欲しいと思います。

教務委員長 鶴田 泰人



SGD後の全体討議

充実した大学生活をおくるために

新入生の皆さん、ご入学おめでとうございます。これから始まる大学での日々に大きな希望を抱えていることと思います。今日を、すばらしい大学生活の第1日目としてください。

さて、大学生活を充実したものにするにはどうしたらいいのでしょうか。簡単な答えはありませんが、ヒントはいくつかあります。一つは、高等学校での生活です。これまでの学校生活で思い出に残ることは、と聞かれたら、多くの人は友人との時間や部活動と答えるでしょう。大学でも同じで、勉強はもちろん大切ですが、その他のさまざまな活動に積極的に参加することで、か

けがえのない経験と友達をつくりましょう。サークルの紹介や入部手続きは始まっています。大学をどんどん活用して下さい。

別のヒントに、大学と高等学校の違いがあります。大学には、ホームルームがありません。講義ごとに教室も先生も、そして学生の顔ぶれも変わりますので、自分の生活リズムを見つけて下さい。そのためにも、気の合う友達を作って早く大学の生活に慣れることをお勧めします。4月5日から始まる新入生合宿オリエンテーションは、大学を理解し友人を見つけるための絶好の機会です。

最後のヒントは、人に頼ることです。何



でも頼りきりになるのは困りますが、上手に人に頼ることも大切です。大学にもクラス担任がいて、さまざまな相談にのります。また、保健管理センターやカウンセリングルームがありますので、困った時は遠慮せずに早めにコンタクトを取ってください。

福山大学の門をくぐったこの日に、勇気をもって大学生活のスタートを切りましょう！

学生委員長 菊田 安至

就職活動への取り組み ―支援体制と心構え―

キャリア形成支援委員会

2008年9月に起こったリーマンショック以来、世界経済は停滞を続け不況の出口はなかなか見出せません。この不況を反映して、大学生を取り巻く就職環境も厳しい状況が続き、ここ2年ほどは超氷河期とさえ言われています。このような厳しい就職環境の中で、本学学生は粘り強く活動していますが、満足できる成果に至っているとは言い難い状況です。

この状況を打開していくために、本学では学生の就職活動を支援していく体制を整備改善しつつあります。3年生次から本格的に始まる就職活動そのものを直接的・短期的にサポートする就職支援と、全学年を通して社会人基礎力を養成向上し、就職活動を間接的長期的にサポートするキャリア形成支援を上手く連動させる体制です。

就職支援は、具体的には各種の就職

ガイダンスの実施、面接トレーニングや合同企業説明会の開催、また企業の求人情報の収集・公開・伝達など、就職活動を進める上で必要不可欠な支援であり、就職委員会と就職課が中心になって運営しています。特に、本年4月からは『ゼルコバ』と呼ばれるシステムが導入展開され、ITを活用して就職関連情報がより早くより的確に伝達されることから、就職支援が活発化されるでしょう。

もう一つの支援であるキャリア形成支援は、就職活動そのものへの支援ではなく、むしろ就職後に社会人として立派に活動してもらうための支援です。社会における責任感・マナー・コミュニケーション力などいわゆる社会人基礎力を身に付けてもらうための支援ですが、これらを身に付けることで厳しい就職戦線を有利に戦えることにもなります。具体的には、各学年を

通じた系統的なキャリア教育の実施、各種資格の取得やインターンシップへの参加に対する支援などを行ない、キャリア形成支援委員会が中心になり運営しています。特に、一昨年から地元企業の協力の下に始まった BINGOチャレンジインターンシップは、本学独自の取り組みであり、キャリア形成の格好の機会であることから、今後も拡充を図っていきます。

以上、就職活動に対して、大学としても直接・間接に支援していますが、就職活動を実践するのはあくまで学生本人であり、色々な支援を生かすも生さないのも学生本人の姿勢次第です。まず、何事にも前向きに積極的に取り組んで下さい。この姿勢と気持ちが、各種の支援を有効に活用し、自らを高め磨き上げ、就職戦線を切り開いていく原動力になるはずです。

キャリア形成支援委員長 布施 守雄

「合同企業説明会」・「企業懇談会」開催される

就職課

就職活動の本番を迎えて(合同企業説明会)

平成25年3月卒業予定者を対象とする福山大学「合同企業説明会」を開催しました。第1回を2月17日に福山ニューキャッスルホテルで、第2回を2月23日に、第3回を2月29日に、ともに福山大学社会連携研究推進センターで開催しました。参加企業は関東以西の広範囲にわたり、合計189社にのぼり、学生の参加も、延べ人数で約593名でした。個別企業の説明会が始まっている時期でもあり、日程の都合がつかなかった学生も多勢いたと思われます。各企業とも厳しい経済状況を反映し、「少人数・厳選採用」の傾向が強くなり、社会人としての基礎的な力、前向きな

意欲、問題解決力、TPOを踏まえた対話力のある人材を求めています。福山大学では個々の学生の相談体制を一層強化し、本学での「単独会社説明会」等も適時開催して、学生の就職活動を支援していきます。

企業と本学との情報交換会開催(企業懇談会)

平成24年3月7日(水)に福山ニューキャッスルホテルで本学主催の企業懇談会が開催されました。

この懇談会は本学創設当初から実施されており、地元企業を始め福山大学、福山平成大学の学生の採用実績がある優良企業を招いて開催しているものです。今年度は167社の203名にご出席いただ

き、両大学への期待の大きさが感じられる盛大な会合となりました。就職委員長の開会の言葉で始まり、清水厚實理事長と松田文子学長が挨拶を行った後、赤松治美福山商工会議所副会頭の力強い音頭による乾杯が行われ懇談に入りました。平成20年の秋から始まった急激な経済の落ち込みと雇用環境の悪化、その後の各業界の動向や新たな展開等を踏まえ、企業の代表者と各学科教員との間で平成24年度の採用見通しなどについて、突っ込んだ情報交換が行われ、相互の信頼関係を深めました。年度末で多用の中をわざわざ出席していただきました企業の皆様に心から感謝とお礼を申し上げます。

社会連携研究推進事業

平成19年度～平成23年度私立大学学術研究高度化推進事業

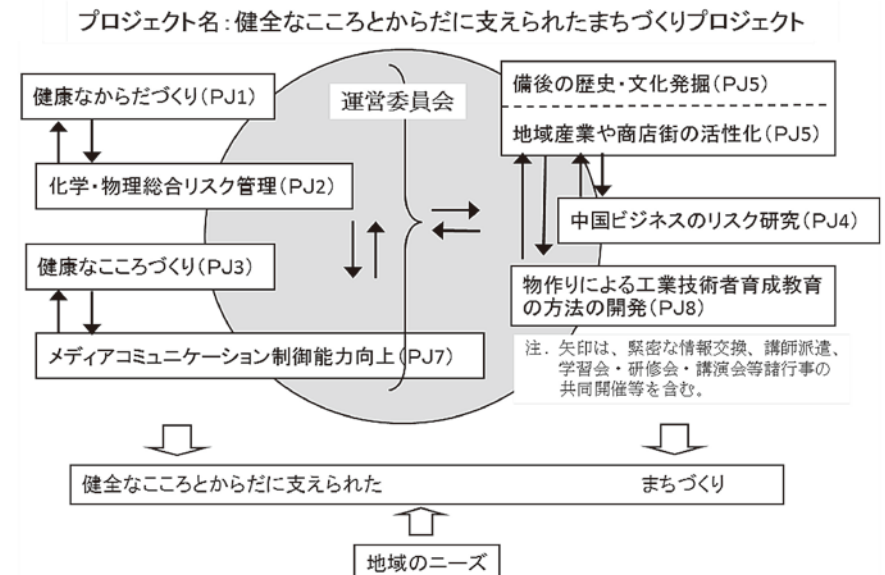
「健全なところとからだに支えられたまちづくりプロジェクト」を終えて

福山大学は広島県東部における唯一の総合大学として、地域から大きな期待を寄せられています。それにこたえるべく、従来から学部・学科レベルで、そして研究者個人として、いわゆる「地域連携」をはたしてきました。それをさらにバージョンアップさせ、社会との連携を強めていくため、福山大学のすべての学部が参加して標記の事業に応募し採択されました(研究代表者:松田文子学長)。そして平成23年度末をもって無事に事業を終えることができました。

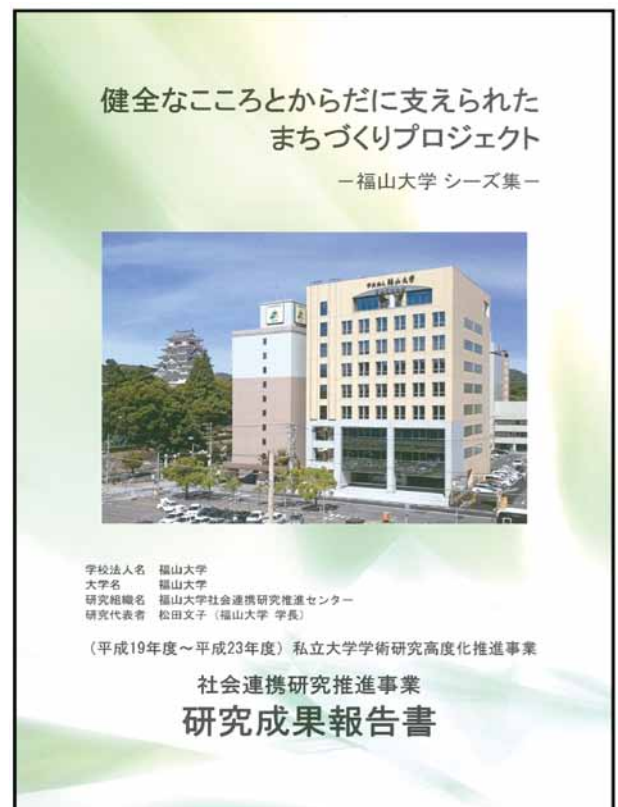
首都圏や大都市への産業と人口の集中、地方の産業の衰退と人口減少には歯止めがかかりません。「活力ある地域づくり」や「ものづくり(産業力・技術力)」を進めるための国や自治体の施策や産官学協同事業が数多く行われてきましたが、産業の振興という観点のみでは地域の再生は難しいのが現状です。

ものをつくり、流通させる主体は人間です。「活力ある地域」をつくるには、まず地域に働き生活する人たちが活力をもつ必要があります。地域の人々が活力をもつには、「健康で健全なところとからだ」、「地域の文化・産業に対する誇りと自信」、「コミュニケーション力」の向上が不可欠です。そこで本研究は、地域の活性化をめざした「身体と精神の健康づくりを核とする、地域に誇りと自信を持つひとづくり、まちづくり」の方法を研究開発することを目的として実施されました。これを実現するために社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)を設置し、福山大学の教員約60名が外部の研究者や学校や企業、自治体や地域住民と連携をとりながら、7つのサブプロジェクトに取り組みました。

それぞれの研究成果は学会や地域で実施される種々の研修会等で公表されたほか、大学主催の公開授業、シンポジウム、文化フォーラム、セミナー等で活用されました。また、2009年に「福山大学社会連携研究推進事業」中間報告CD版を発



行、さらに「福山大学発! リレー講座——これからの時代を生きるために——」の中で地域住民に向けた講演会をシリーズで開催しました。そして、この平成23年度末で事業を終え、文部科学省に研究成果報告書を提出する運びとなりました。ここに、それをご報告し、これまでご協力いただいた多くの方々にお礼を申し上げます。もっとも大きな成果は、これにより、理系・文系を超えた研究者の交流や、新たな地域社会との連携が生まれたことです。今後は、社会連携研究推進センター(宮地茂記念館)を拠点にして、継続的な大学開放・社会連携事業を展開していくことが期待されます。



研究成果報告書とりまとめ担当

心理学科 教授 青野 篤子

第8回 公共広告機構CM学生賞コンテスト奨励賞受賞

公益社団法人ACジャパンが主催する「第8回公共広告CM学生賞」で、メディア情報文化学科4年の松岡 敏孝君 浅野芳江さん 猪原 修平君 松永 圭司君 岡本 郁弥君と2年の井元優輝君の6名が制作したCM「言葉の折り方、考えていますか?」が奨励賞を受賞しました。4年連続の快挙です。今年は本学から28名の学生で3班に分かれて作品を制作し、応募しました。

この公共広告CM学生賞は「日本の未来を担う若い世代が、広告制作を通じて公共広告への理解を深め、社会に主体的にかかわる「公」への意識をはぐむことを目的として企画された賞です。全国の大



CM作品「言葉の折り方、考えていますか?」
一場面

学などから、154作品の応募があり、応募作品は全国7事務局により1次選考でファイナリスト43作品に絞り込まれ、3月9日の最終審査会で厳正に選考・協議され、グランプリ、BS民放賞、部門賞(コピー、表現技術、アイデア、テーマ)、優秀賞、奨励賞が決定しました。

広告の目的は、その広告の情報によって商品や企業などに対しての意識をポジティブに変えていくこと、一言でいえば「態度変容を促す」ことです。しかし、公共広告は、見ている一人一人の心の奥深くにある正義や美学といった「意識」を味方に付けて、態度を変えていく難しさがあります。

代表の松岡君は「映像作りは大学に



CM作品「言葉の折り方、考えていますか?」
キャッチコピー

入ってからはじめてもので、映像制作を行って、このような立派な賞をいただき、非常に嬉しく思います。3年生映像制作の授業で制作した作品です。この作品は、コミュニケーションで「何気ない一言が、いかに相手を傷つけるのか」に気づいてもらうことを意図して作りました。「心ない言葉が相手を傷つけ、人間関係を悪くするか」は、文字で表すと簡単なことですが、映像で印象深く表現するが大変苦労したところでした。ことば遣いを象徴するため紙でつくった手裏剣や紙つぶてがお互いを傷付け合うことで表現しました。指導頂いた藤森益弘、三宅正太郎両先生にはこの場を借りて御礼申し上げます。これからも、ゼミや学科の仲間達と共に映像ははじめ色々なメディア制作に力を注いでいきたいと思っています。」と、力強いコメントがありました。

学科ホームページや三蔵祭の期間中に受賞作品を初め学生が制作した作品の上映を予定しています。どうぞご期待下さい。

メディア情報文化学科

教授 三宅 正太郎

ETロボコン2012に向けて — 昨年を上回る成績を目指して —

ETロボコンは、正式名称を「ET(エンベデッドテクノロジー:Embedded Technology)ソフトウェアデザインロボットコンテスト」といい、組込みソフトウェア技術教育をテーマとしたロボットコンテストの一つです。

この「組込み込みソフトウェア」は言葉こそあまり知られていませんが、家電製品、自動車、産業機器などで特定の機能を実現するために組み込まれたマイコンのためのソフトウェアです。ETロボコンに参加する学生はコンテストを通してプログラミングの技術のみならず、要素分析・設計・評価・改善と一連の開発過程をシステムティックに行う技術と設計概念を身につけ、プレゼンテーション能力やコミュニケーション能力においても質の高いスキルを獲得することが期待できます。

2011年度に全国11地区の1つとして、当大学が地区特別協力・開催協力機関となって中四国地区大会(実行委員長:香川直己教授)を設立し開催しています。

この活動に対する私たち電子・ロボット工学科の取り組みは、競技会の運営のみならず、地元高校生を対象とした高大連携授業、一般の方を対象とした地域連携事業、学科の授業(実験)への応用などと、幅広いものとなっています。

昨年度の地区大会は福山大学社会連携研究推進センターにて、9月24日に開催され、工学部電子・ロボット工学科の学生がチーム名「SANZOU」で出場しました。結果は、並いる企業チームを抑え、16チーム中で走行競技第3位、モデル(プログラムの設計図)審査部門で敢闘賞を貰い総合で第5位という、全国大会まであと少しというところまで健闘しました。

この第2回中四国地区大会は平成24年9月22日に福山大学社会連携研究推進センターで行われます。

今年は2チームで地区大会に出場する計画です。現在、チームメンバーを広く募っています。興味のある方は学部、学科を問わず、電子・ロボット工学科 ee-web@



exam.fuee.fukuyama-u.ac.jp
まで、ご連絡ください。目指すは全国制覇!!

ETロボコンのホームページ:
<http://www.etrobo.jp>
電子・ロボット工学科

准教授 沖 俊任

キャンパス案内板がリニューアル

老朽化していたキャンパス案内板を、福山大学キャンパスに合った緑を基調としたデザインに一新してリニューアルしました。

リニューアルしたキャンパス案内板は目立つため、在学生・教職員だけでなく、初めて大学に来られ方にもご活用いただけると思います。



学 友 会 短 信

【サッカー部】

- 12月18日 第60回全日本大学サッカー選手権大会出場
- 2月7日 FC岐阜(J2)入団会見・中島康平(経済3年)



- 1月29日～2月26日 第21回仁紫カップサッカー大会出場
- 2月4日 コメンシッパ(福山サッカー協会主催表彰式)
- 3月2日 第26回デンソーカップチャレンジサッカー宮崎大会出場 中四国選抜選手・大宮隆太郎(経済3年)谷本和希(経済3年)半田翔一(経済3年)加藤紘将(経済2年)、監督・的場千尋(サッカー部コーチ)、技術委員・吉田卓史(サッカー部監督)
- 3月17日 朝日新聞&サンフレッチェ広島ファミリーサッカースクール協賛参加

【硬式野球部】

- 3月1日～ オープン戦開始

【陸上競技部】

- 11月27日 第18回ひろしま県央競歩大会 2011出場1万mW廣藤耕一(経済2年)日本インカレ標準記録突破
- 12月4日 第55回中国四国学生駅伝競走大会出場
- 1月29日 第75回中国山口駅伝競走大会出場
- 2月19日 第95回日本陸上競技選手権大会(兼第30回オリンピック競技大会代表選考競技会)男子20km競歩の部出場 廣藤耕一(経済2年)
- 3月4日 第15回岡山県ハーフマラソン選手権大会出場
- 3月11日 第36回全日本競歩能美(兼第30回オリンピック競技大会代表選手選考競技会、兼第6回日本学生20km競歩選手権大会)出場

- 3月18日 第31回ふくやまマラソン大会出場

【剣道部】

- 12月11日 第31回中四国学生剣道新人戦大会出場
- 3月10日 平成23年度中四国学生剣道リーダーゼミナール参加

【柔道部】

- 3月25日 第44回平和カップ広島柔道大会出場

【ゴルフ部】

- 12月9日 平成23年度中四国学生ゴルフ連盟白竜湖カップ出場

【実戦空手道部】

- 12月4日 The 15th フロンティア・スピリット空手道選手権大会出場 3位山本祥央(海洋3年)
- 2月26日 第17回全日本実践空手道オープン選手権大会出場

【硬式庭球部】

- 11月19日～26日 平成23年度中国四国学生テニス新進トーナメント大会出場

【弓道部】

- 12月3日 第39回広島県学生弓道新人戦出場
- 3月13日 第18回中四国学生弓道新人戦出場 男子個人5位 藤原悠也(メディア1年)

【卓球部】

- 12月1日 第43回中国新人学生卓球選手権大会出場
- 2月25日 第12回中国学生卓球連盟幹事長杯争奪卓球大会出場

【バドミントン部】

- 12月2日広島県学生バドミントン大会出場
- 12月7日第50回中国・四国・九州学生バドミントン選手権大会出場

【スキー部】

- 1月13日 第1回スキーツアー(大山スキー場)
- 2月20日 第2回スキーツアー(広島県民の森スキー場)

【YRC(ボランティア)部】

- 12月18・25日、1月29日、2月19日、3月18日 クリーンウォーキングinFUKUYAMA
- 12月11日、1月15日、2月12日 クリーンウォーキングinMATSUNAGA
- 12月18日、2月26日、3月25日 クリーンウォーキングin芦田川
- 2月4日 第3回 フレンドリーピック Mastunaga CarpeDiem 参加

【管弦楽団】

- 1月13日 部内アンサンブルコンサート
- 3月20日 学位記授与式

【陶芸部】

- 3月7日 作陶展inふくふく

【演劇部】

- 3月25日 第1回新旧合同公演

【書道同好会】

- 1月3日～9日 ふくやま書道美術館 ETOをかく新春展出張

【モノづくり研究会】

- 12月3日 モノづくり教室

【三蔵太鼓を打つ会】

- 11月22日 硬式野球部壮行式
- 12月4日 第6回東村町かかし祭り出演
- 12月16日 サッカー部壮行式



- 3月20日 学位記授与式

【執行部】

- 12月16日 サッカー部壮行式
- 12月11日 学友会ツアー in京都(平等院鳳凰堂、嵐山散策)
- 2月26日 スキーツアー開催(猫山スキー場、スキー部協力)
- 3月20日 卒業記念パーティー
- 学友会新規承認について MUSICラ部同好会(楽曲作成サークル) (平成23年12月6日承認)
- サークル顧問変更について ゴルフ部顧問 藤岡照夫→坂本和丈(経済学部教授) (平成23年12月6日承認)
- 空手部顧問 中山昭夫(工学部教授)→松本静夫(工学部教授) (平成22年3月29日承認)
- サークル名称変更について YRC部→YRC(ボランティア)部 (平成24年1月16日承認)

国際交流瓦版

◎Buenafe M. Puno さん(人間文化 1年 フィリピン出身)、額日敦布和さん(国際経済 2年 中国出身)、李凌冰さん(メディア情報文化 2年 中国出身)、Panayotova P. Zlatozarovaさん(人間文化 交換留学生 ブルガリア出身)が福山市立駅家小学校で母国の文化や日本との繋がり・子供達へ願い等について6年生の児童に講義。



(2011年11月28日・30日)

◎王飛雲さん(国際経済 4年 中国出身)らひろしま国際センター奨学生6名が、富士彰夫副学長・国際センター長と共に(財)ひろしま国際センター主催「平成23年度第2回奨学生交流会」に出席。(12月7日)

◎孫麗娜さん(国際経済 3年 中国出身)を会長とする留学生会が、多文化推進イベント「フレンドリーピックまつながカープヂェー」で松永の地域の方々へ本場の味を楽しんでもらおうと中国料理の模擬店を出店。額日敦布和さん(国際経済 2年 中国出身)は内蒙古伝統楽器の馬頭琴を演奏。

(2012年2月4日～5日)

◎ブルガリアの協定校、ソフィア大学から本学に入学した、Panayotova P. Zlatozarovaさん(人間文化 交換留学生 ブルガリア出身)が福山市立東村小学校の5・6年生の児童にブルガリア伝統料理タラトルの調理法を指導。児童達は日本の料理としておにぎりを作って食文化交流。(2月21日)

◎江珊さん(国際経済 3年 中国出身)ら3名の留学生が日中友好広島県議会議員連盟主催の講演会・交流会に出席し、日中友好交流。(2月27日)

◎李凌冰さん(メディア情報文化 2年 中国出身)が、外国人留学生を支援する会及びふくやま国際交流協会主催「第20回外国人留学生による日本語スピーチコンテスト」において、「日本での出会い」のスピーチで最優秀賞受賞。本学弓道部での仲間との貴重な出会いについて袴姿で流暢にスピーチ。

(3月4日)



◎額日敦布和さん(国際経済 2年 中国出身)が、福山市立新涯小学校において、「スーホーの白い馬」の国語の授業で馬頭琴を演奏。(3月5日)



◎車競飛さん(国際経済 4年 中国出身)ら14名の中国からの留学生が、日中親善協会主催「中国からの留学生の送別会・激励会」に出席。(3月6日)

◎平成23年度学位記授与式において、学部留学生73名、大学院修士課程留学生1名が巣立った。王曉磊さん(国際経済 4年 中国出身)が経済学部国際経済学科の総代として学位記を授与。(3月20日)

◎Muthoni E. Munene (国際経済 3年 ケニア出身)とBuenafe M. Puno さん(人間文化 1年 フィリピン出身)は、(社)福山青年会議所主催、福山グリーンリーダーズスクールの講師として福山少年自然の家で小学生と異文化交流。

(3月24日)

(学務部国際交流課)

第20回 外国人留学生による日本語スピーチコンテスト

「日本での出会い」

「留学生でも入部できますか……」

(それは私が来日して初めて日本人に話しかけた言葉です。大学入学式後、キャンパスにはさまざまなサークルの勧誘の声が溢れていました。「その中の一人になりたいなあ。」しかし誰も私に注目してくれませんでした。)その時です、ある風景が私の目をひきました。凛々しい袴姿で和弓を持っている弓道部の部員達です。「カッコいい!!これが弓道か?」かつて日本のドラマに出てきた弓道に一目惚れした記憶が蘇りました。来日後ずっとぼうつとしていた私は初めて元気が出ました。

「留学生でも大丈夫よ。ぜひ弓道部にいらっしゃい」爽やかな笑顔と暖かい言葉に誘われ、私は弓道部の部員になりました。

弓道には初心者の方が覚えにくいという礼儀や作法が山ほどあります。毎日道場へ足を運びました。けれども、なかなか弓に触れることができませんでした。正直がっかりしました。三ヶ月経っても、毎日、「射法八節」の素引き練習ばかりでした。「射法八節」と言えば格好いい響きがありますが、実際は、弓を持たずに、八つの動作をひたすら練習することです。

留学生の友達に愚痴をこぼしたら、「部活なんてお金もかかるし、大変でしょう。そんな時間あれば、バイトの方がずっと遣り甲斐あるでしょう。ばかばかしい。」と言われました。

しかし、よく考えてみると、先輩達はどれほど苦労して指導してくれて来たか。部員達はどれぐらい違和感を乗り越え、私のたどった日



本語に耳を傾け、仲良くしてくれか。すべては私しか知らないことです。私はこれらの出会いを大切に守りたいです。

光陰矢の如し。半年が経ち、私はやっと自分の弓をもらいました。去年12月、仲間たちと一緒に、大会に出場しました。広い道場であがり症の私に聞こえたのは「ドクンドクン」と鼓動する自分の心臓の音だけでした。じつと的を見つめ、ようやく落ち着いてきた時に、急にむなしい気持ちになり、なぜか懐かしい気がしました。初めての試合なのに、何故懐かしさを感じたのでしょうか。

それは私が毎日、人生という道場にいるからではないでしょうか。自分はどこへ向かうべきなのか、今やっていることは正しいのか、など、不

安でしょうがない日々が続いているからです。

そうか、どんなに不安を感じても矢を飛ばすように歩んで行くならきっと大丈夫です。それは、結果が必ず出て来るからなのです。悪かったら、きっとどこか原因があり、良かったら、それなりの理由もあるはず。そのように、恐れずに踏み出すと、次々と扉が開き、いつか夢にも辿り着くでしょう。

「プツッ」矢が土に刺さった音です。私の最初の矢は見事に外れました。

弓道を通じて私は人生にもう一つの面白さを見つけました。

メディア情報文化学科 2年 李 凌冰

平成24年度 主要行事日程予定表

4月1日(日)	前期(4/1~9/15)
4月3日(火)~7日(土)	学内オリエンテーション(在学生) 各種説明会
4月3日(火)	入学式
4月3日(火)~4日(水)	学内オリエンテーション(新入生)
4月5日(木)~6日(金)	新入生合宿オリエンテーション・セミナー
4月5日(木)~16日(月)	定期健康診断(学生)
4月9日(月)	前期授業開始
4月6日(金)~13日(金)	Web履修登録(2~6年次生)
4月9日(月)~13日(金)	Web履修登録(新入生)
4月21日(土)	6年次生保証人との就職懇談会(薬学部)
5月15日(火)	開学記念日・学長杯争奪競技大会
5月22日(火)~24日(木)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
7月24日(火)	前期授業終了
7月25日(水)~8月4日(土)	全学前期定期試験
8月6日(月)	夏季休業開始
8月18日(土)~9月9日(日)	教育懇談会
9月19日(水)	経済学部 後期オリエンテーション
9月20日(木)	夏季休業終了
9月21日(金)	後期授業開始 後期(9/16~3/31)
9月中旬~10月中旬	大学院入試(経済学,人間科学,工学,薬学)
9月中旬~10月下旬	公開講座
10月7日(日)	平成25年度指定校入学試験
10月19日(金)~22日(月)	大学祭(三蔵祭)・学長杯争奪競技大会

11月7日(水)~8日(木)	平成25年度推薦入学試験(A日程)
11月20日(火)	教職員健康診断(特殊健康診断を含む)
11月下旬	3年次生保証人との就職懇談会 (経済学部・人間文化学部)
12月中旬	3年次生保証人との就職懇談会 (工学部・生命工学部)
12月8日(土)	平成25年度推薦入学試験(B日程)
12月20日(木)	授業終了
12月21日(金)	冬季休業開始
12月28日(金)~1月4日(金)	仕事納め 年末・年始休業
1月4日(金)	冬季休業終了
1月5日(土)	仕事始め 授業開始
1月18日(金)~1月20日(日)	大学入試センター試験
1月30日(水)	後期授業終了
1月31日(木)~2月3日(日)	平成25年度前期入学試験(A日程)
2月4日(月)~14日(木)	後期定期試験
2月18日(月)~28日(木)	学部・学科別行事
2月22日(金)	平成25年度前期入学試験(B日程)
3月1日(金)~	春季休業開始
3月上旬	企業懇談会
3月14日(木)	平成25年度後期入学試験
3月20日(水)	学位記授与式(卒業式)

【備考】本予定表は全学的な関係行事に限定したもので、各学部・各部局・各委員会などについては、その都度必要に応じて月間予定表に記載されます。

4月の行事

4月3日(火)	入学式 新入生オリエンテーション オリエンテーション 【薬学部6年次生】
4月4日(水)	新入生オリエンテーション 学科別オリエンテーション 【2・3年次生】
4月5日(木)	新入生合宿オリエンテーション 定期健康診断 【男子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】 学科別オリエンテーション 【4・5年次生】
4月6日(金)	新入生合宿オリエンテーション 学科別オリエンテーション 【2~5年次生】 定期健康診断 【女子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】
4月6日(金) ~13日(金)	Web履修登録 【2~6年次生】

4月7日(土)	各種説明会 【2~6年次生】 定期健康診断 【午前男子/午後女子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】
4月9日(月) ~13日(金)	Web履修登録 【新入生】
4月9日(月)	授業開始 定期健康診断 【午前男子/午後女子:2・4・6年次生・院M2・D3:大学会館】
4月10日(火)	定期健康診断 【男子:2・4・6年次生,院M2・D3:大学会館】
4月11日(水)	定期健康診断 【午前女子/午後男子:1・3・5年次生・院M1・D1・D2:大学会館】
4月12日(木)	定期健康診断 【男子:1・3・5年次生・院M1・D1・D2:大学会館】
4月13日(金)	定期健康診断 【午前男子/午後女子:1・3・5年次生・院M1・D1・D2:大学会館】
4月16日(月)	定期健康診断 【午前男子/午後女子:1・3・5年次生・院M1・D1・D2:大学会館】

編集後記

新入生のみなさん、入学おめでとうございます。いきなりですがうんちくをつつ。勉強の“勉”は勉める,“強”は強いるという意味です。つまり嫌なことや辛いことを無理に頑張ることになります。ところが、大学は学問の場です。学問の“学”は学ぶ,“問”は問うという意味です。つまり、自分の好きなことや興味のあることを教員や先輩、友人に問いながら学んでいくということになります。福山大学で是非“学問”をしてください。「キャンパスライフの指針」,「学生の活動」などが、みなさんの学問を始める助けになればと思いながら編集しました。

発行 福山大学
編集 福山大学広報委員会
〒729-0292 広島県福山市学園町1番地三蔵
TEL(084)936-2111 FAX(084)936-2213

<http://www.fukuyama-u.ac.jp>